







## 保険料試算モデルケース

実在した国民健康保険加入者世帯を参考に、モデルケースを作成しております。

保険料は、令和4年度から10年度までの7年間の見直しを進めており、令和4年度は激変緩和分2、520万円の1/7である360万円、令和5年度は激変緩和分2、607万円の2/7である745万円の引き上げ総額となるよう385万円の上乗せを行いました。

激変緩和措置は令和5年度をもって終了しましたが、令和6年度に限り三重県の財政安定化基金から財政調整機能分等として2、168万円が措置されることから、令和6年度は財政調整機能分等2、168万円の3/7である929万円の引き上げ総額となるよう、新たに184万円を上乗せして試算したモデルケースは以下のとおりとなります。

ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース5	ケース6
 妻（72歳）：年収96万円	 夫（72歳）：年収490万円 妻（68歳）：年収490万円 ※年収＝給与収入426万円＋年金収入64万円	 夫（64歳）：年収110万円 妻（61歳）：年収0円	 単身（57歳）：年収144万円	 夫（45歳）：年収600万円 妻（44歳）：年収0円 子（9歳）：小学4年生 子（5歳）：未就学児	 母（28歳）：年収0円 子（3歳）：未就学児
合計所得金額 0円	合計所得金額 594万円	合計所得金額 55万円	合計所得金額 89万円	合計所得金額 436万円	合計所得金額 0円
※夫（76歳）が後期高齢者医療保険へ移行に伴い、特定同一世帯減免を受けている ※応益（平等割）5割軽減	※持ち家 ※固定資産税 27.4万円 ※応益（均等割・平等割）軽減なし	※持ち家 ※固定資産税 12.7万円 ※応益（均等割・平等割）5割軽減	※賃貸暮らし ※固定資産税 0円 ※応益（均等割・平等割）2割軽減	※賃貸暮らし ※固定資産税 0円 ※応益（均等割・平等割）軽減なし ※子どもの均等割5割軽減	※賃貸暮らし ※非課税世帯（ひとり親） ※応益（均等割・平等割）7割軽減 ※子どもの均等割5割軽減
R5年度 54,250円/年 (2,500円/年UP)	R5年度 467,880円/年 (11,398円/年UP)	R5年度 128,721円/年 (2,784円/年UP)	R5年度 106,300円/年 (3,352円/年UP)	R5年度 488,340円/年 (11,966円/年UP)	R5年度 26,745円/年 (1,275円/年UP)
R6年度見込み額 55,300円/年 (1,050円/年UP)	R6年度見込み額 474,744円/年 (6,864円/年UP)	R6年度見込み額 129,968円/年 (1,247円/年UP)	R6年度見込み額 107,914円/年 (1,614円/年UP)	R6年度見込み額 494,877円/年 (6,537円/年UP)	R6年度見込み額 27,285円/年 (540円/年UP)